



彩の国
埼玉県

ホームページ版
(道徳教材5篇収録)

みんななかよし

彩の国のちびっく

(小学校中学年)

埼玉県教育委員会

みんななかよし

 わたしたちの埼玉県 1

1 ぼくのえんぴつ 3

2 運動ぐつも笑ってる 5

3 水をもとめて「野火止用水」のびとめようすい 7

4 ハートがたのガム 9

5 新発売のカードしんはつばい 11

6 今日のヒーロー 13

 「規律ある態度」でこんな心が育ちます 15

7 かなちゃんへの手紙 17

● 8 一輪の花りん 19

9 わたしとのぞみ 21

10 わたしのお父さん 23

 のマークは、コラムのページです。

● は収録されている内容です。



心に残る本の紹介

49

20

ゆかたとチマチヨゴリ

47

19

キラキラ光るあめ玉

—川越菓子屋横丁—

45

18

泳げ、百メートルこいのぼり

43

17

ハッピースマイル

41

16

赤いししがしら

39

15

草むしりボランティア

37

14

クラスのみまり

35



埼玉の伝統と文化を受けつぐ人たちの思い

33

13

武甲山のいぶき —武甲山と恒友—

31

12

わたしの町のさくらの木

29

11

家族のアルバム

27



心のほっとストーリー

26



してはならないことがある！

25

4 ていねいな言葉づかいを身につける

家庭では

「ていねいな言葉づかいを身につける」と、人との関係がよくなり、自分も相手も心が温かくなります。



相手への
思いやりの心が
育ちます。



日常の会話の他、お客様や電話での会話など、相手やその場にふさわしい言葉をつかみましょう。

5 学習のきまりを守る

家庭では

「学習のきまりを守る」と、真剣に学習に取り組めるようになり、みんなが気持ちよく学習することができます。



真剣に学習
しようとする心が
育ちます。



学習のじゅんびができたなら時間を決めて、宿題や家庭学習をきちんとできるようにしましょう。

6 生活のきまりを守る

家庭では

「生活のきまりを守る」と、集団生活にふさわしい行動をとることができ、協力することの大切さがわかります。



みんなのことを
考えて生活しようとする
心が育ちます。



家の仕事(お手伝い)を分たんし、きめられた仕事をしたり、我が家のきまりを家族みんなで守りましょう。

みなさんは「江戸しぐさ」って聞いたことがありますか…。

江戸しぐさ

今からおよそ300年前の江戸時代。江戸の町(げんざいの東京)は人口140万人にも達するほどの世界最大の都市でした。その町を歩き交う商人たちが、他の人と気持ちよく生活するために「江戸しぐさ」が生み出されました。いくつかしょうかいします。

- 「肩引き」「傘かしげ」…せまい路地ですれちがうときに、おたがいにぶつからないように肩を引いたり、傘をかたむけたりする。
- 「こぶし腰浮かせ」…後から船に乗ってきた人に席を作るために、こぶし一つ分腰を浮かせておたがいにつめあう。
- 「あいづちしぐさ」…相手が話をしているときにはしっかり聞き、話の腰を折らない。

この他にもまだありますが、どのしぐさも、今でも通じる大切な公共マナーです。みなさんも相手の気持ちを考え、ぜひ試してみてください。そして、自分や学校、家族オリジナルの「〇〇しぐさ」を考え、おたがいが気持ちよくすごせるよう身につけてみませんか。



教育に関する3つの達成目標

「**規律ある態度**」でこんな心が育ちます!!

埼玉県で取り組んでいる「規律ある態度」の目標は、わたしたちの豊かな心をはぐくむための土台となるものです。

毎日の学校生活や家庭生活をふり返り、今の自分、今の生活をもう一度見直してみましよう。

規則正しい生活の形を整えることによって、心もその形にふさわしいものになっていきます。

教育に関する3つの達成目標



「心は形をつくり、形は心を整える」

「学力」「規律ある態度」「体力」の基礎・基本

1 時刻を守る

家庭では

「時刻を守る」と、自分の生活にけじめがつけられ、毎日いろんなことができ、自分を大切にすることができるようになります。

自分の力で
解決しようとする心が
育ちます。

朝は自分で起きる習慣を身につけ、約束した時刻に家に帰るなど、時刻を守って生活しましょう。

2 身の回りの整理整頓をする

家庭では

「身の回りの整理整頓をする」と、自分の気持ちがすっきりし、他人にも気持ちよく感じさせます。

自分やみんなの
物を大切にしようとする
心が育ちます。

ぬいだくつをそろえたり、自分の衣服をたたんだり、部屋をかたづけたりするなど、自然にできるようにしましょう。

3 進んであいさつや返事をする

家庭では

「進んであいさつや返事をする」と、人とかわるの大切さやまわりの人に支えられていることに気づきます。

すなおで明るい
心や感謝する心が
育ちます。

朝「おはよう」のあいさつから一日をはじめ、家族同士の呼び声に、「はい」と返事をしましょう。

8 一輪の花

一八四〇年、渋沢栄一は、血洗島村（げんざいの深谷市）に生まれました。

栄一が十歳のころのことでした。近所に、長い間おもし病氣にかかり、たった一人でくらししているりんというむすめがいました。むすめの病氣は人にうつるとうわさされ、だれもたずねる人はいません。しかし、栄一の母えいだけはいつもむすめの体のことを心配し、たずねていました。

今日も、栄一に

「りんさんのところへ行き

ますよ。」

と母が声をかけますが、

「ぼくは行きたくありません。」

といやがりました。しかし、母は栄一の言葉を気にもとめず、



「そんなことをいわずにでかけましょう。」とさそいました。むすめは、うすぐらい部屋の中で一人ぼつんとすわっていました。母が

「少しですが、やさいを持って

きましたよ。早く元気になつてくさいね。」

というと、うれしそうな顔をしました。

しかし、栄一はむすめのそば

までよれませんでした。

ある日、むすめがいつものお

礼にと、ぼたもちを作り持ってきました。きものふところから、そつとつつみをさしだすと、

「おいしいねえ。いいお味よ。」

母は、おいしそうにぼたもちをほおばったのです。

むすめは、うれしそうに、にっこりとほほえみま

した。栄一はしょうじのかげから、そつと二人の

様子を見ていました。むすめが帰るとすぐに、

「お母さんが病氣になったらどうするんですか。」

と、母を心配しました。しかし、



「あら、そんなことありませんよ。お医者様は『うつりません。』とおっしゃったわよ。それに、わたしが食べることによって、あの子はどんなによろこぶでしょう。」とニコニコしながら話しました。



自分のへやにもどっても、栄一は母の言葉が頭からはなれませんでした。

このころ、鹿島神社かしまじんじやのけい内だいには、いどがあり、その水を使って神社のとなりで共同ぶろがたてられていました。ふろには、村の人だけでなく近所の村からも多くの人が入りにきていました。

「りんさんをおふろにつれて行きます。」と、母はまた、出かけていきました。

母がむすめとふろにやってくる、ふろに入っていた人たちはあわてていなくなりました。

母は、そんなことは気にせず、「さあ、せなかを流ながしましょう。」

と、むすめのせなかをやさしく流し始めました。「おかみさん。ありがとう。」とむすめはなみだを流しました。その後、むすめはだれに見おくられることなく、なくなりました。栄一は、むすめのはかに一輪の花をたむける母のすがたをそっと見つめていました。



栄一は、九十一歳さいでこの世よをさるまで、世の中のこまっている人のためにはたらきつづけました。それは、やさしい母えいのすがたが栄一の心の中に生き続つづけたからです。

人物紹介

一八四〇年、埼玉県深谷市に生まれた渋沢栄一は、人々の暮らしを豊かにするために、日本に五百もの会社をつくり、産業の発展に努めました。

行ってみよう、調べてみよう！

「渋沢栄一記念館」



深谷市下手計一二〇四
〇四八(五八七)一一〇〇



SAITAMA

12 わたしの町のさくらの木

「わあ、きれいなね。」

満開まんかいのさくらの花を見上げて、けい子は思わず声をあげました。

けい子の住む北本市には、「石戸蒲いしとかぼザクラ」と

よばれる、みごとなさくらの木があります。木の高さは、十五メートル近くもあり、大きく広げたえだいっばいに、ピンクがかった白い花がさいています。

下から見上げると、青い空からたくさんのお花が、ふってくるように感じられました。



「石戸蒲ザクラ」写真提供：北本市教育委員会

「本当にきれいなね。このさくらは、八百年ぐらいたっていると言われているそうだよ。」と、お父ちちさんも見上げて言いました。

「えっ。本当なの。八百年もたっている木が、こんなに美しい花をたくさんさかせるなんてー。」と、けい子はふしぎに思いました。

ふと気がつくと、えだの下に丸太が何本も立っていました。

「お父さん、どうしてこんなに丸太が立っているの。」

と、けい子が聞くと、「それはね。えだがおれないように、下からささえあげているんだよ。」と、お父さんが教えてくれました。

一本のさくらの木をこんなにたくさん丸太でささえていることに、けい子はおどろいてしまいました。満開の花をつけたえだや緑みどりの葉はがしげっ

たえだは、どんなに重いことでしょう。

「けい子、見てごらん。これはね。長い間に、みきがくさってしまったので、その部分にくすりをつけて、これ以上くさらないようにしてあるんだよ。」お父さんが、指さしたところを見ると、そこは、まるで、けがをしたうでのようにいたんでいました。けい子は、そっとさわってみました。手に、さくらのこきゅうがつたわるような気がしました。



そんなけい子のようすを見て、すぐ近くで草取りをしていたおじいさんが、

「このさくらの木は、わたしたちにとっては、かわいい木で、近くに住む人や子どもたちが集まって草取りをしたりそうじをしたりしてらんだ

よ。」

と、教えてくれました。草取りをしていたおじいさんのひたいには、あせが光っていました。

「八百年もさきつづけているわけがわかったわ。わたしもときどき見に来てみよう。」



と言って、けい子は、もう一度満開のさくらの木を見上げました。



行ってみよう、調べてみよう！
「石戸蒲ザクラ」

北本市石戸宿三二一九 東光寺境内
〇四八(五九七) 一一二一 (北本市役所)



SAITAMA

13 武甲山のいぶき — 武甲山と恒友 —

もりたつねとも
森田恒友は絵が好きで、まわりの友達に絵をかいてあげた。少年時代を熊谷ですごした。昔、晴れた日には、秩父の方に武甲山が見えた。武甲山はじつとして、くる日もくる日も恒友を見つめているようだった。武甲山に関心がなかった恒友も、何か心にひかれるものを感じた。

ある日、恒友は武甲山についてお母さんに聞いた。

「大昔、ヤマトタケルノミコトが関東にやってきたとき、山が勇ましいかたちをしていたので、武具（刀ややり）や甲ちゆう（よろい）をおさめたそうよ。それで、武甲山とよばれるようになったのよ。武甲山は秩父の王者ですよ。」



「武甲山」写真提供：武甲山資料館

と教えてくれた。それを聞いて、恒友はますます

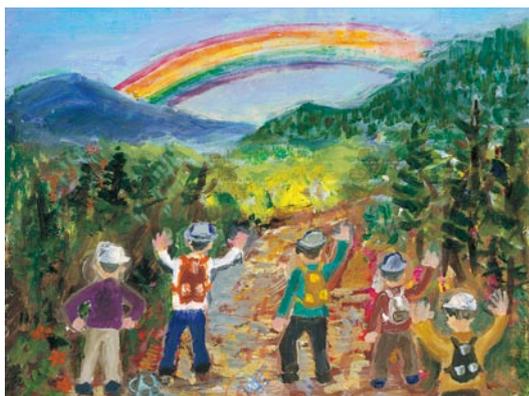
武甲山が好きになってきた。恒友は中学生になって初めてみんなと武甲山に登った。道が急でけわしくすべりやすかった。おまけに小さな岩がゴロゴロしていた。と中の、山のしゃ面でひと休みした。登ってきた方角を見下ろすと山道が白い糸のようにほそく見えた。しばらくすると、あたりが急に暗くなり黒い雲が広がった。とつぜん、

「ピカッ。ゴロゴロゴロ。」

と、耳をふさぎたくなるようなかみなりが鳴りひびき、大つぶの雨が、ポツ、ポツと落ちてきた。はげしい雨が二、三分続いたかと思うとすぐにやんだ。

「にじだ。にじが出ているぞ。」

と、だれかがさげんだ。ちようど橋をかけたように山と山の間に七色のあざやかなにじができていた。「きれいだなあ。にじをこんなに近くで見たのは、初めてだ。」

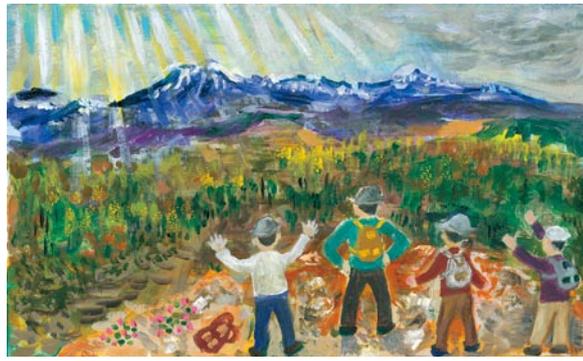


みんな口ぐちに、おどろきの声をあげて、しばらく立ち止まった。

そして、ふたたび恒友もひたいにあせをかいいて登りはじめた。ふとわきを見ると、ミズヒキの小さな花が、かすかにゆれながら恒友たちをおうえんしているようだった。

とうとう、みんなは、武甲山のいただきに着いた。すみきった空からさわやかな風がふいて、いっぺんにあせがひいていくのがわかった。下界げかいにいるときには味わえない風だった。足元に目をやるとオバギボウシやウバユリの白い花が恒友をかんげいするようゆれていた。

てんぼう台に集まると、「ほら、あれが男体山おんたいざんだよ。」と、遠くの方を指さしている先生の声がひびいてきた。みんなは、はるか向こうに見える山なみを見つめた。ちょうど、レースのカーテンのように太陽の光が雲の間を走りぬけていた。



みんなは、あまりの美しさに心をうたれ、音ひとつたてる者ものもいなかった。このとき、恒友も自然しぜんの美しさに深く感動かんとくして、しばらく動うごけなかった。

（美しい自然をありのままにかいてみよう。）
恒友は、このとき決心けっしんし、今日きょうから武甲山と友だちになるぞと強く思った。

その後、恒友は絵をかき、画家がかになった。その作品さくひんには、今も武甲山のいぶきがみちあふれている。



写真提供：熊谷市立熊谷図書館

*いぶき：木や植物などが活動を始めるようす

人物紹介

一八八一年、埼玉県熊谷市に生まれた森田恒友は、東京美術学校（現東京芸術大学）に入学して絵を学び、油彩画や水墨画など多くの作品を残しています。

行ってみよう、調べてみよう！

「武甲山資料館」



秩父市大宮六一七六番地
〇四九四（二四）七五五五



でんとう ぶんか
埼玉の伝統と文化

埼玉県には昔から受けつがれてきた伝統と文化がたくさんあります。まずは自分が住んでいるまちについて、自分で調べたり、地域の人にたずねたりして、伝統を受けつぐ人たちの思いを知ろう。

ふかや
深谷市のねぎ畑

かわごえ
川越市の菓子屋横丁

日本一のおいしいねぎを作るのが、私たちの願いです。



買い物のやり取りをしていると、どんなに情報化が進んでも、人と人のふれあいは大切なことだと感じています。

国の「重要無形文化財」、そして、県の「伝統的手工芸品」に指定されています。手作りの和紙のぬくもりを生活の中に求める人がふえてきています。



わし
小川町の和紙作り

子どもの遊び道具が、今ではお祝いの品となりました。



こうのす
鴻巣市の赤物作り

埼玉が好きになる



埼玉の伝統と文化を受けつぐ人たちの思い



空高く、元気に泳ぐこいのぼりを見て、子どもたちにも明るく元気にすごしてほしいと願っています。

加須市のこいのぼり作り

川口市の鋳物工場



仕事はつらいけど、できたものを喜んでもらえたときは、本当にうれしいです。お客様に信頼される製品作りにほこりをもって毎日仕事をしています。



地元埼玉の美味しいお茶を、みなさん召し上がれ！

狭山市の茶畑

埼玉を知る

16 赤いししがしら

「ええっ、またー。」

「そう、また行けなくなっちゃったの。さんねんだけけど、今は赤物でいそがしい時だからがまんしてね。」
よしこは、朝起きるとお母さんに言われました。

あしたの日曜日は、ひさしぶりに、家族で遊園地に出かける予定だったのですが、家の仕事のつごうで行けなくなってしまったのです。こんな時は、店をやっているわが家がいやになります。

鴻巣市は、古くから人形作りがさかんで、人形作りに合わせるように赤物とよばれる色をつけ



「赤物」写真提供：鴻巣市役所

いそがしい季節なのです。

ただるまやししがしらなどが作られました。昔から、赤い色は子どもをわるい病気からまもると信じられ、人びとからよこばれていました。

よしこの家でも、代だいひな人形や赤物作りを続けてきましたが、特に夏の間は赤物作りで

その日の夕食の時でした。「この町のししがしらも有名になったものだね。きょうもまた、外国のおみやげにしたいからと言って、買いに来てくれたお客さんがいたよ。」
と、おばあちゃんがうれしそ



うに言いました。お父さんも、
「町の人が長い間大切にしてく
きた赤物が、みんなによる
こばれるのはうれしいこと
だよ。」

と、にこにこしています。け
れど、よしこはけさのことを
思い出すと素直にはよろこべ
ませんでした。

よしこはややふまん気な顔をして、
「お父さん、どうしてうちは赤物作りをつづけて
いるの。今はこういうお店は少なくなっている
るんでしょう。」

と聞くと、お父さんは、しんけんな目でよしこを
見つめ、ゆつくりと語りはじめました。

「それはね。ししがしらは、この町の伝でんとうだか
らだよ。大事にしなくちゃな。町の人たちみんな
が健康けんこうにすごせますように、それにわが家
でも、子どもたちが元気に育ちますようにとい
つも願ねがいながら作っているんだよ。」
そばで、話を聞いていたおばあちゃんも、



「そうだね。おじいちゃんも一生けんめい作って
いたね。お父さんは、あのころのおじいちゃん
に、にてきたよ。」

と、にこにこしながらよしこに言いました。
よしこは、お父さんやおばあちゃんの話聞いて
いるうちに、さっきまでふくれていた自分がは
ずかしくなりました。

「さあ、もう少し仕事だ。」

と言って、お父さんとお母さんは、仕事場へ立っ
て行きました。

「おばあちゃん、きょうはわたしが後かたづけを
するね。」

と言って、よしこも元氣せきよく席せきを立ちました。



18 泳げ、百メートルこいのぼり

加須市は古くから『こいのぼりの町』として有名です。こいのぼりには、わが子の健康を願い、しよう来大きくはばたいしてほしいという思いがこめられています。人びとはこれを全国のみなさんにもっと知ってもらいたいと考えていました。そこで青年会議所が中心となって、『市民の力を出し合い、ジャンボこいのぼりを泳がせよう』を合い言葉に始められたのが、百メートルこいのぼりのせい作です。

今日は、毎年五月のはじめに行われる市民平和祭。こいのぼりを上げる日です。

ひろしも、お父さんといっしょに、ジャンボこいのぼりの口にロープを通し、クレーン車で少しずつ持ち上げられるこいのぼりを見えています。そのときです。

「バリッ、ビリビリ、ビリーッ。」

ぶきみな音とともに、キラキラ光るこいのぼりの大きな口がやぶれ、クレーン車にひっかかり、む



ざんなすがたになってしまいました。見ていた人びとは、思わずため息をもらしています。くちびるをかみしめ、なみださえうかべている人もいます。ひろしも残念でしかたがありません。

百メートルこいのぼりは、十二月の寒いころからせい作て二千人もの市みんの協力によって作られました。

「百メートルもの長いぬのはどうしよう。大きな体をささえられる、強くてしかも空にまい上がる軽いぬのはどんなものがよいだろうか。」

「青空にはえる美しく光る色は……。遠くでも見えるうろこの色や大きさ、形、ぬい方は……。口はどのくらいの大きさにしよう。しっぽはどんな形にしよう。」

「みんなにどのよう協力してもらおう。」と次から次へと出される問題を解決しながらつ

くり上げたものです。
ひろしも每ばんのように
体育館に出かけるお父さん
の話聞いてるうちに、
じつと家で待ってるいらな
くなり、いっしょに見にい
くほどでした。

失敗に終わったこいのぼ
りのしゅう理もようやく終
わり、今日は、五月の大空へ向って二回目のちよ
う戦です。

この日にかぎって、風が弱く、風向きも一定
しません。じゅんびもすっかり終わり、
「今度こそ、成功させよう。」
と、みんなが待つこと三時間あまり。やっと、風
がふき始めました。

「さあ、今だ。」
思わずさげび声を上げたひろしの気持ちに答える
かのように百メートルこいのぼりが大きな体をゆ
っくり起こし、おなかいっぱいに風をすいこみ、
しっぽをはね上げました。
「やった、泳いでるー。」



よく晴れた空にゆうゆうと泳ぐこいのぼり。ひろ
しは、
「バンザイ。」
とさげびながら、お父さんや周りの人の顔を見
ると、みんなの顔にはうれしさが広がっていました。
ぼくは来年のこの日が、楽しみにになりました。



*平成八年に作られたジャンボこいのぼりせい二世は、全
長一一メートル、重さ七三〇キログラム、**日本一**の大
きさです。

「ジャンボこいのぼり」写真提供：加須市役所

心に残る本の紹介

本は1さつごとにちがった世界^{せかい}があります。その世界の中で、私たちは、喜^{よろこ}んだり、悲^{かな}しんだり、あるときは夢^{ゆめ}のような冒険^{ぼうけん}にわくわくし、またあるときは、勇気^{ゆうき}のある生き方にはげまされ、いろいろなことを感じるができます。本を友達にすることで、自分の心を明るく、やさしく、かがやかせることができるでしょう。



書名	著作	出版社
チロヌップのきつね	たかはしひろゆき	金の星社
とべないホタル	小沢昭巳・作 森寛子・画	ハート出版
葉っぱのフレディ	レオ・バスカーリア・作 みらいなな・訳	童話屋
100万回生きたねこ	佐野洋子	講談社
森の学校のなかまたち	きたむらえり・作 片山健・絵	福音館書店
わすれられないおくりもの	スーザン・バーレイ 小川仁央・訳	評論社
赤毛のアン	ルーシー・M. モンゴメリ	講談社（青い鳥文庫）〔ほか〕
金色のクジラ	岸川悦子・作 狩野富貴子・絵	ひくまの出版
クイールはもうどう犬になった	こわせたまみ・文 秋元良平・写真	ひさかたチャイルド
子ぎつねヘレンがのこしたもの	竹田津 実	偕成社
天使のいる教室	宮川ひろ・作 ましませつこ・画	童心社
長くつしたのピッピ	アストリッド・リンドグレーン	講談社（青い鳥文庫）〔ほか〕
走れ、セナ！	香坂 直	講談社
ふしぎな木の実の料理法	岡田 淳	理論社
ペニーさん	マリー・ホール・エッツ 松岡享子・訳	徳間書店
犬ぞりの少年	ジョン・レイノルズ・ガーディナー 久米穰・訳	文研出版
おばあちゃんの犬ジョータン	安藤美紀夫・作 水沢研・絵	岩崎書店
羊男のクリスマス	村上春樹・文 佐々木マキ・絵	講談社
窓 ^{まど} ぎわのトットちゃん	黒柳徹子・作 いわさきちひろ・絵	講談社（青い鳥文庫）
シートン動物記	アーネスト・T・シートン	福音館書店〔ほか〕
十 ^{さい} 歳のきみへ	日野原重明	富山房インターナショナル
せかいいちうつくしい村へかえる	小林 豊	ポプラ社
モグラ原っぱのなかまたち	古田足日・作 田畑精一・絵	あかね書房

心に残る「子どもの本」100選 ～子どもたち・友だちにすすめる100冊の本～

発行 埼玉県教育委員会

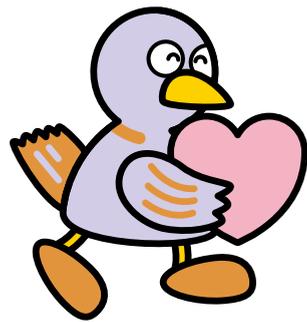
埼玉県道徳教材資料集（小学校中学年版「みんななかよし」）

○監 修 尾田 幸雄 お茶の水女子大学名誉教授
高島 元洋 お茶の水女子大学大学院教授
押谷 由夫 昭和女子大学大学院教授
蛭田 政弘 文教大学教授
鈴木 賢一 元埼玉県道徳教育研究会会長

○協 力 堺 正一 立正大学教授
宇宙航空研究開発機構 JAXA
永井機械鑄造株式会社

○写真提供 小川町教育委員会生涯学習課
加須市安全環境経済部勤労商工課
北本市教育委員会教育部生涯学習課
熊谷市立図書館
鴻巣市環境産業部商工観光課
狭山市市民部農政課
武甲山資料館
深谷市産業振興部農業振興課
（表紙）清水 勉

発 行 埼玉県教育委員会（平成22年2月）
編 集 埼玉県教育局県立学校部生徒指導課
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL 048-830-6745
FAX 048-830-4952
E-mail : a6740@pref.saitama.lg.jp



埼玉県のマスコット コバトン